

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	15.70	0.96	80.54	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,261	197.79	163.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
306	1.10	278.18

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を超えているが、多額の繰入金に依存している状況が続いている。
- ③流動比率
建設費に充てた企業債の償還が進み比率の改善が続いており、類似団体平均を下回っている。
- ④企業債残高対事業規模比率
企業債残高の減少により比率の減少は続いているものの、依然として類似団体平均を大きく上回っている。
- ⑤経費回収率
使用料収入の減少等もあり年々減少している。今後も汚水処理費の削減等に努めるとともに、令和8年4月から使用料金の改定を実施し、経費回収率の改善に努める予定である。
- ⑥汚水処理減価
前年度より増加しているものの、類似団体平均を下回っている。今後も現状分析を行い、維持管理費の削減等に努める必要がある。
- ⑧水洗化率
前年度と同数値であり、類似団体平均を下回っているため、引き続き水洗化率向上への取組を行う必要がある。

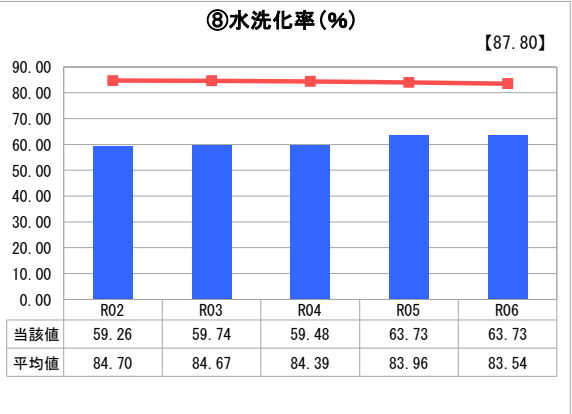
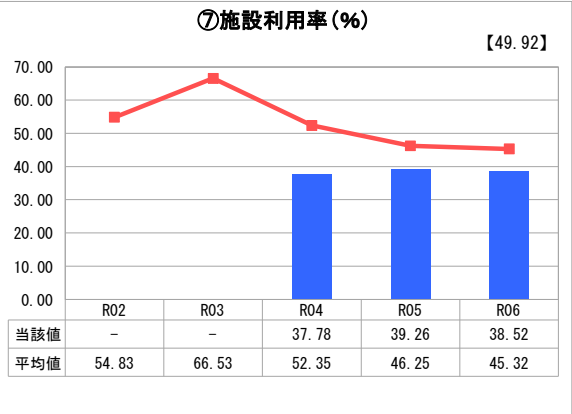
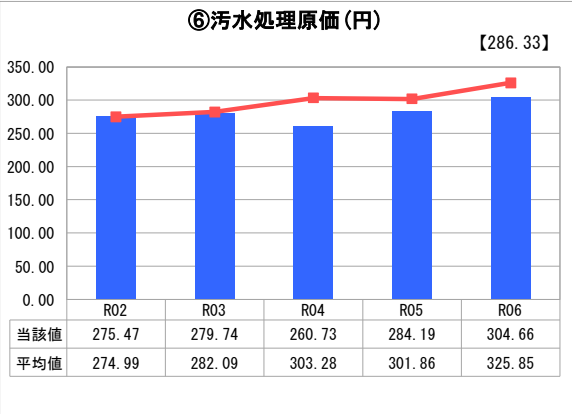
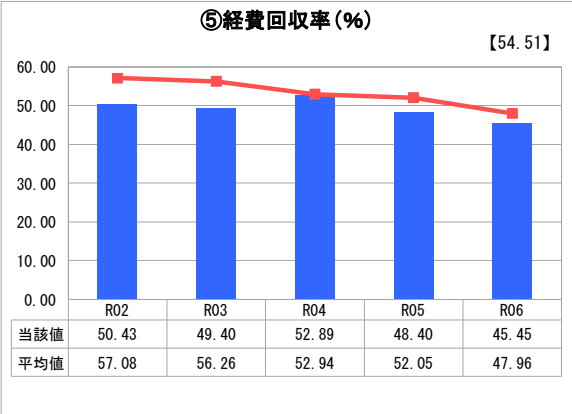
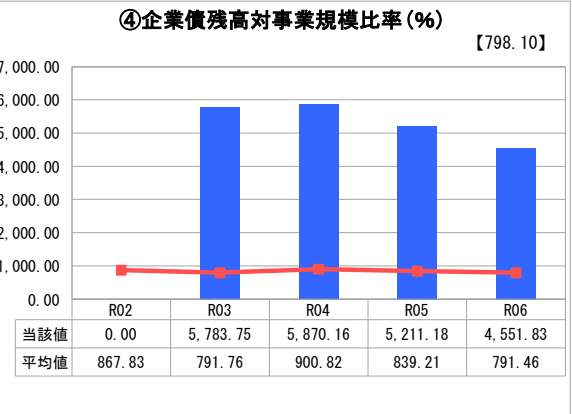
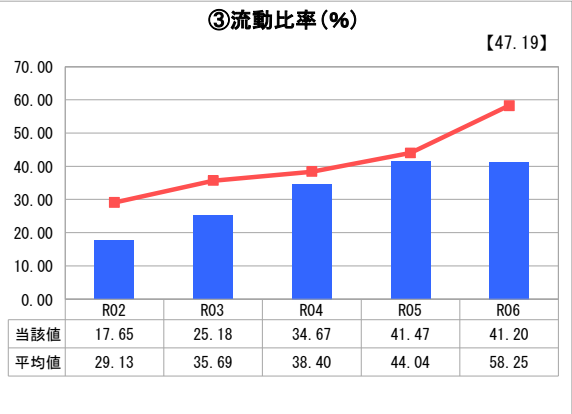
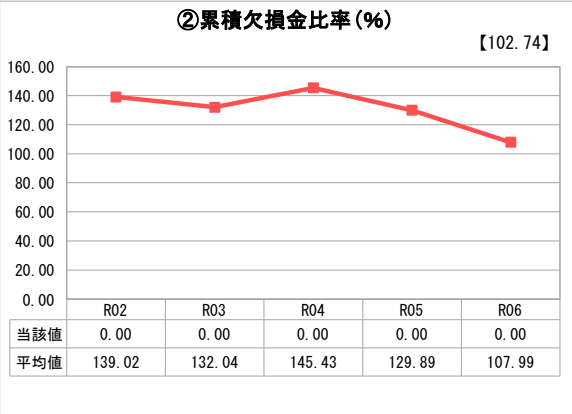
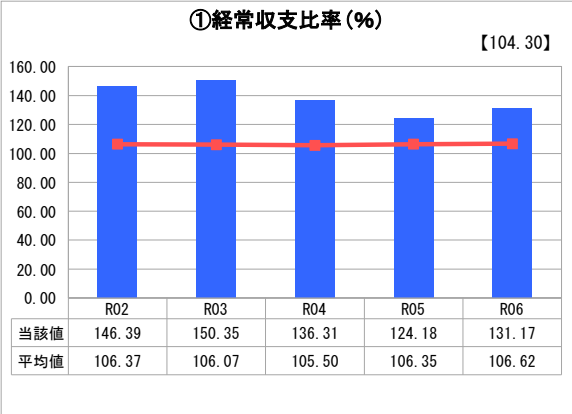
2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体平均を下回っているが、供用開始から20年を経過している管渠施設もあり、今後ますます老朽化が進むと思われる。そのため、引き続き合理的な修繕更新を進めていく予定である。

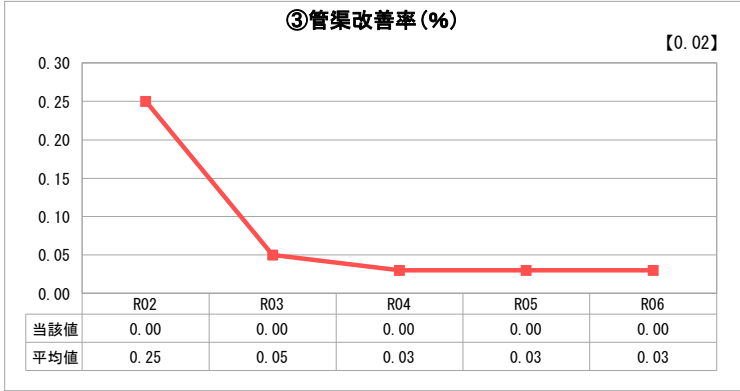
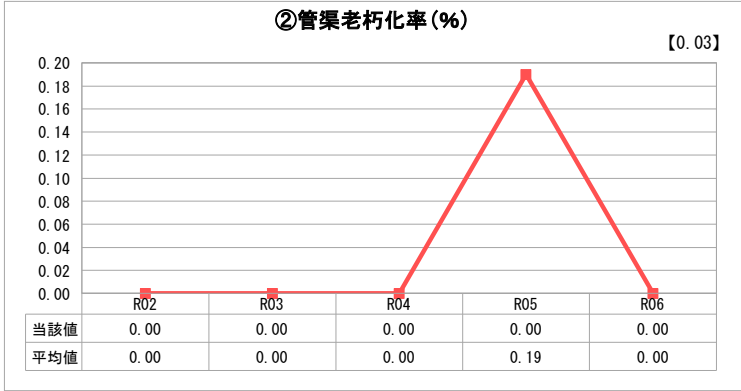
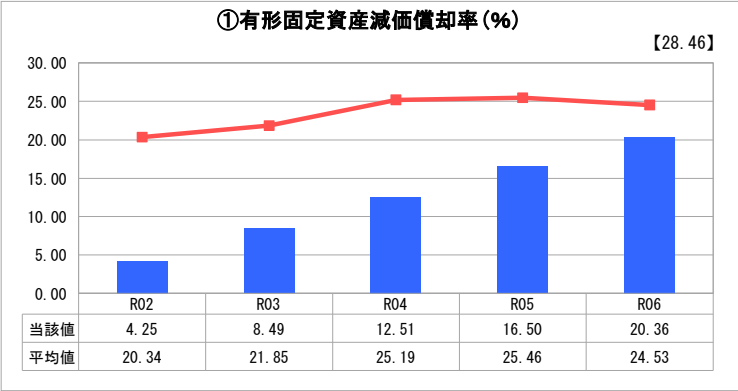
全体総括

農業集落排水地区は、東日本大震災により事業区域の大部分が被災したことにより、必要な費用を使用料収入で賄うことは難しい状況ではあるが、経営改善のため、令和8年4月から使用料金の改定を実施する予定である。また引き続き、汚水処理費の削減に努めるなど、経営の効率化が求められる。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。